

# C O R P O R A T E P R O F I L E

## 第67期 中間事業報告書

平成19年4月1日 ▶ 平成19年9月30日





株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第67期（2007年9月中間期）の中間事業報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当社は、出版物の輸出入を事業基盤とし、音楽ソフト、雑貨品にわたる商材の取扱いがあり、その当社だからできる「提案型営業」を目指しております。利益率の向上と利益額の確保に重点を置き、社外的には出版社との業務提携による物流の見直しなど、WIN-WINの関係を築きながら、一方では人材の登用を基軸に見据えた社内改革に努めてまいりました。今後も文化事業者として、次世代にも誇れる当社の特徴を活かしながら、企業価値を高めてまいり所存です。

株主の皆様におかれましては、旧来にもまして当社に対する一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成19年12月

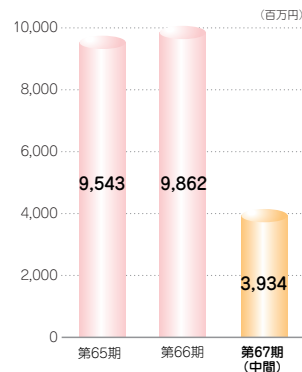
代表取締役会長 **綾森 豊彦**  
代表取締役社長 **関口 晴生**

To Our Stockholders

### 営業の経過及び成果

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、大企業を中心として企業収益が堅調に推移し、緩やかに回復している感がありますが、海外を主なマーケットとする輸出企業と内需関連企業では明暗が分かれています。また、第2四半期からアメリカでサブプライムローン問題が明らかになり、急激な円高と金融収縮、原油の高騰等今後の世界経済に対する減速懸念が出てまいりました。日本での個人消費は拡大にはいたっておらず内需を中心とした本格的な景気回復を実感できませんでした。当社がおかれている出版物及び音楽関連ソフト業界はインターネット普及によるネット販売、音楽配信の影響を受け厳しい経営環境にあり、予断を許さない状況で推移いたしました。このような状況の中で、当社グループは売上販路の改革と経費削減を推し進めました。その結果、当中間連結会計期間の売上高は39億3千4百万円（前年同期比90.7%）となり、営業利益2千5百万円（前年同期営業損失1千4百万円）、経常利益は75万円（前年同期経常損失2千1百万円）、中間純利益は1千2百万円（前年同期比195.1%）となりました。

### 売上高



## 部門別の営業概況

### 出版物事業

海外大学図書館への輸出売上げは売上高、利益率ともに計画を上回り順調に推移いたしました。和雑誌、和書籍の輸出売上げも東南アジア向けが大きく伸びました。また、海外子会社への日本語学習書の売上げが好調に推移し增收増益となりました。英文書の輸出売上げは概ね順調に推移いたしました。一方、洋書の国内販売はネット販売による業界再編の影響がありましたが、売上高は前年比、計画比ともに上回り利益面におきましても物流のアウトソーシングの効果が表れてきました。

その結果、当部門の売上高は19億6百万円（前年同期比104.2%）となりました。

### 音響及び雑貨部門

輸入音響関連商品の売上げは、インターネットの普及によるネット販売と、音楽配信の影響を大きく受け減収減益となりました。減収の要因としては、前期の第1四半期にインディーズの1作品だけで約3億円の売上げがありましたが、当期はこれに変わる商品に恵まれませんでした。また、当社も直接ではありませんがネット販売を開始したところ徐々に売上増となってきたものの、業績に影響を与えるような売上高になるにはもう少し時間がかかると考えられます。一方音響関連商品の輸出売上げと一般雑貨の輸出売上げは順調に推移いたしました。

その結果、当部門の売上高は19億4千万円（前年同期比80.2%）となりました。

### 不動産賃貸部門

新日貿ビル及び日貿ビルの貸室営業は満室を維持し、順調に推移いたしました。札幌の学生会館マ・メゾンも全館一括賃貸を継続し順調に推移いたしました。

その結果、当部門の売上高は8千7百万円（前年同期比96.6%）となりました。

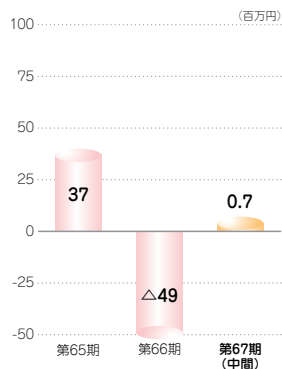
## 通期の見通し

通期におけるわが国の経済は、米国サブプライムローン問題や原油価格の高騰等、予断は許さないながらも長期的には緩やかに拡大するものと思われまます。

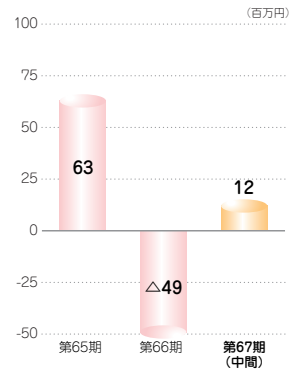
当社グループは、下期に売上が集中する傾向にありますが、出版物事業において、当社一手販売となる売れ筋の新刊による売上増を見込んでおります。また輸入音楽関連ソフト事業におきましては、ネット販売と音楽配信の影響により厳しい状況が続くと思われまますが、物流のアウトソーシング費用の減少をはじめ、人件費減少といった営業費の圧縮を見込んでおります。

これらにより、通期の業績見通しにつきましては、売上高95億4千1百万円、営業利益1億2千3百万円、経常利益8千万円、当期純利益4千7百万円を見込んでおります。

### 経常利益



### 中間(当期)純利益



### 国内第一事業部

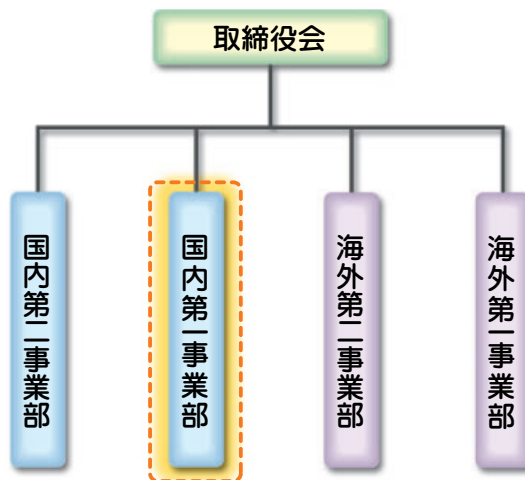
洋書の卸売業界におけるリーディングカンパニーとしてお客様のご要望にお応えさせて頂いております。

### 国内第一事業部の仕事

国内第一事業部の組織は営業1課、営業2課、大阪営業所、九州営業所で構成されております。主要顧客は全国の書店、大学生協、トーハン・日販をはじめとした取次、大学図書館等であり、スタッフにつきましても札幌、仙台、名古屋、大阪、広島、福岡に配置し、お客様を随時訪問しながらご要望に対応させて頂いております。また、当事業部の主要取扱い商品は、洋書の教科書（採用品）、日本語教材、日本関連書籍、輸入コミック、輸入カレンダー、リメイnder（外国アウトレット商品）、学生向け電子辞書、オーディオ商品等を中心に販売しております。その他、国内・外国の学術専門雑誌の取扱いをいたしておりますが、特に英国科学雑誌Nature及びその関連雑誌につきましては、法人向け日本販売代理店を25年に亘り務めさせて頂いております。

### 事業部目標

洋書の卸売業界におけるリーディングカンパニーとして、常にトップの地位を維持し、市場に応じた迅速な商品の調達、供給を目指しております。また、お客様に応じた展催事企画のご提案を積極的に行う事により顧客ニーズに的確に対応して参ります。近年における当事業部の売上は毎年向上しておりますが、各人が更に営業活動に邁進、新商品の開発を行う事により、部員一同、目標達成に向けて取り組んでいきます。



### 目標達成に向けた戦略

お客様のご要求を掌握し、市場に応じた商品調達及び海外仕入先商品の輸入強化を行っております。最近では既存の書籍に留まらず、海外出版社とのタイアップによるビジネス関連書籍翻訳版の出版および販売、ミシュランホテル・レストランガイド東京2008、音楽関連商品の取り扱い等、多岐に亘った商品開発、販売促進を行っておりますので、今後ともご期待下さい。更に、迅速かつ正確な物流からもお客様のご満足を頂く事を念頭に、円滑な物流の実現を常に心掛けており、同時に物流コスト削減に向けた施策を実施しております。

## 海外の状況 (海外第一事業部)

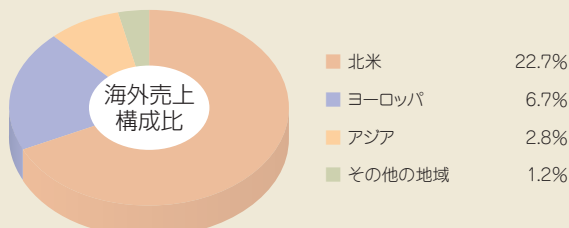
出版物や雑貨類など日本文化を伝える商品の卸営業、  
小売販売を積極的におこなっております。

海外売上高

1,313百万円

連結売上高に占める  
海外売上高の割合

33.4%



(※上記数値には海外図書館等への売上を一部含まます)

海外子会社・関連会社としてアメリカ(サンフランシスコ・ロスアンゼルス・ホノルル)イギリス(ロンドン)フランス(パリ)に拠点を持ち、日本文化を伝える英文書出版事業から、海外日本語学習者(06年297万人)向け教材、和文出版物、工芸品、文具、音響・映像商品にいたる商品の卸営業、小売販売を積極的に行っております。中商期における輸出売上は、海外子会社・関連会社、和文出版物と音響・映像関連商品が好調に推移した結果、海外第一事業部全体の売上高、営業利益、経常利益は事業計画通り推移しました。下期には売上が好調な日本語教材、和文出版物と音響・映像商品の販売促進を継続拡大するとともに雑貨・ファッション文具の新商品を中心とした営業展開を図ります。

## 異文化交流の架け橋になるJPTの国際ネットワーク

当社は、創立以来、わが国の優良出版物をはじめ、伝統文化的な雑貨や玩具などを、世界の国々で活躍する日系在留邦人、日本研究機関、日本人学校などへ輸出するとともに、海外からも優良出版物を輸入してきました。現在、こうした輸出入は、当社と海外主要拠点に配置した当社の子会社、関連会社などを結んだ国際ネットワークを通じて、活発に行われています。



### JP-BOOKS(UK)LTD.

#### 住所

LOWER GROUND  
FLOOR, DORLAND  
HOUSE 14-20  
REGENT STREET,  
LONDON SW1Y4PH U.K.

#### 事業内容

ロンドン三越内において、日本の書籍、雑誌および、日本の伝統民芸品などの小売販売を行っています。

### CULTURE JAPON S.A.S.

#### 住所

101 BIS,QUAI BRANLY  
75740 PARIS CEDEX 15,  
FRANCE

#### 事業内容

パリの日本文化会館において、日本語教材を中心とした日本の書籍、雑誌、伝統民芸品などの小売販売を行っています。



### (株)日貿出版社

#### 住所

東京都千代田区猿樂町1-2-2  
日貿ビル

#### 事業内容

水墨画、書道、陶芸など、日本文化に関する出版物の企画・製作・発行を行っています。



### HAKUBUNDO, INC.

#### 住所

PAM AM BUILDING 1600 KAPIOLANI  
BOULE VARD, SUITE 121,  
HONOLULU HAWAII 96814 USA

#### 事業内容

ハワイ全土をカバーする拠点として、日本の書籍、雑貨のほか、日本語教材・文具などの卸および、小売販売を行っています。



### JP TRADING, INC.

#### 住所

800 BURLWAY ROAD  
UNIT#A BURLINGAME CA  
94010, U.S.A.

#### 事業内容

1979年設立。米国西海岸地区を拠点とし、出版物や音楽ソフトおよび、日本雑貨の卸売を行っています。



## リトルジャマープロ:美空ひばり ジャズを唄う

当社が代理店となっているバンダイ社の「リトルジャマープロ」(税込52,500円)の専用ゲストプレイヤーとして、「美空ひばり ジャズを唄う」(税込23,100円)が発売されることが決まりました。先日美空ひばりさんと親交の深かった徳光和夫氏の司会のもと、日野皓正氏、中村メイ子氏をゲストに迎えて大々的に発表記者会見が行われました。美空ひばりさんは歌謡曲以外にも“ジャズシンガー”としても有名で、「美空ひばり ジャズを唄う」には往年のヒットナンバーとジャズの名曲の二本のカートリッジが付属して入っております。またこのカートリッジは実際のライブコンサートでのヴォーカル音源を抽出しており、美空ひばり本人による曲間のステージ進行や語りも同時収録されております。12月には「美空ひばり ジャズを唄う」の発売を記念して、「リトルジャマープロ・美空ひばりジャズを唄うセット」が発売(税込75,600円)され、付録としてLPジャケットサイズの曲解説書が入ります。

- リトルジャマープロ本体 (税込52,500円)
- リトルジャマー・プロ専用ゲストプレイヤー「美空ひばり ジャズを唄う」(税込23,100円)
- 「リトルジャマープロ・美空ひばりジャズを唄うセット」+LPジャケットサイズ曲解説書付きセット(税込75,600円)

注:ヴォーカリストは単体では作動しません。リトルジャマープロ本体に接続してご使用下さい。



©ひばりプロダクション  
Licensed by Columbia Music Entertainment, Inc.  
©BANDAI

## ミシュランガイド東京2008(英語版)

フランスで百年を超える歴史を持つレストラン・ホテルの格付け本「ミシュランガイド」の東京版(英語版)が11月22日に発売されました。ミシュラン社は1900年の出版以来、ヨーロッパ地区限定でガイドを刊行していましたが、2005年にNY, LA, 及びラスベガスの米国版を刊行、この度アジア地区では初めての東京版の刊行となりました。ミシュラン社は昨年11月よりヨーロッパ人3名、日本人2名の調査員が都内23区のレストラン・ホテルを対象に覆面調査を開始、1年の調査結果を基に、星なしから三つ星までの格付け、評価が掲載されております。このガイドブック(英語版)の販売代理店権を日本出版貿易が取得、美食グルメが急速に進展している日本において好評発売中です。

- ISBN 978-2-02-713069-2
- 定価2,310円(本体2,200円+税)



©MICHELIN2007

## 平成版「初代歌川広重東海道五十三次木版画」展示会

葛飾北斎と並んで歌川広重は印象派を始めとしたゴッホやセザンヌなどの欧米の芸術家に大きな影響をあたえ、いわゆるジャポニスムの流行をもたらしたと言われております。その広重の没後150年を来年に控え、代表作「東海道五十三次」の中でも最高傑作と言われる最初に描いた保永堂版の復刻画が東京伝統木版画工芸協同組合(東京都、経済産業省公認団体)の手で今春完成しました。この復刻に携わった職人の記録はNHK「新日曜美術館」でも放送されております。当社と米国現地法人JP TRADING, INC.は東京伝統木版画工芸協同組合と共催でサンフランシスコ-大阪姉妹都市提携50周年記念事業の一環として10月13日(土)から11月11日(日)まで、サンフランシスコ日本町でこの平成版「初代歌川広重東海道五十三次木版画」展示会を開催しました。10月12日のレセプションと13日には、東京伝統木版画工芸協同組合の本田正明会長、摺り師の堀川昭三郎氏が日本から参加し講演と摺りのデモンストレーションが催されました。初日から客足が途絶えないほどの盛況で現地で話題になり多くの外国人や若い女性が関心を示しており好評な展示会となりました。



● 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当中間期 (平成19年9月30日現在)	前 期 (平成19年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
<b>流 動 資 産</b>	<b>3,203</b>	<b>4,145</b>
現金及び預金	661	536
<b>1</b> 受取手形及び売掛金	1,348	2,347
有価証券	88	91
たな卸資産	946	1,028
繰延税金資産	81	57
デリバティブ債権	—	7
その他	104	129
貸倒引当金	△26	△52
<b>固 定 資 産</b>	<b>2,277</b>	<b>2,409</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>1,583</b>	<b>1,597</b>
建物	381	393
土地	1,178	1,178
その他	23	25
<b>無形固定資産</b>	<b>80</b>	<b>89</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>613</b>	<b>722</b>
投資有価証券	452	565
繰延税金資産	142	125
その他	50	69
貸倒引当金	△32	△37
<b>資産合計</b>	<b>5,481</b>	<b>6,555</b>

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

Point

- 1** 受取手形及び売掛金  
前連結会計年度末に比べ9億9千9百万円の減少となりました。  
当社グループでは大学等への英語教科書等の販売が下期（春先）に集中する季節的要因があるためであります。

(単位：百万円)

科 目	当中間期 (平成19年9月30日現在)	前 期 (平成19年3月31日現在)
<b>負債の部</b>		
<b>流 動 負 債</b>	<b>3,754</b>	<b>4,707</b>
支払手形及び買掛金	936	1,948
短期借入金	2,437	2,233
返品調整引当金	5	19
その他	374	505
<b>固 定 負 債</b>	<b>819</b>	<b>891</b>
長期借入金	222	232
再評価に係る繰延税金負債	424	424
退職給付引当金	78	84
その他	94	150
<b>負債合計</b>	<b>4,573</b>	<b>5,599</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
<b>資 本 金</b>	<b>300</b>	<b>300</b>
<b>資 本 剰 余 金</b>	<b>65</b>	<b>65</b>
<b>利 益 剰 余 金</b>	<b>38</b>	<b>25</b>
<b>自己株式</b>	<b>△4</b>	<b>△4</b>
<b>株主資本合計</b>	<b>399</b>	<b>387</b>
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	△125	△61
繰延ヘッジ損益	0	3
土地再評価差額金	618	618
為替換算調整勘定	15	8
評価・換算差額等合計	508	568
<b>純資産合計</b>	<b>907</b>	<b>955</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>5,481</b>	<b>6,555</b>

● 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当中間期	前中間期
	(自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)	(自平成18年4月1日 至平成18年9月30日)
<b>2</b> 売上高	3,934	4,340
売上原価	3,184	3,564
売上総利益	749	775
<b>3</b> 販売費及び一般管理費	724	789
営業利益又は営業損失(△)	25	△14
営業外収益	6	12
営業外費用	30	19
経常利益又は経常損失(△)	0	△21
特別利益	18	37
特別損失	0	5
税金等調整前中間純利益	18	10
法人税、住民税及び事業税	0	0
法人税等調整額	5	3
中間純利益	12	6

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

● 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)

科目	当中間期	前中間期
	(自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)	(自平成18年4月1日 至平成18年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△93	177
投資活動によるキャッシュ・フロー	21	46
財務活動によるキャッシュ・フロー	193	272
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	0
現金及び現金同等物の増加額	125	496
現金及び現金同等物の期首残高	551	210
現金及び現金同等物の中間期末残高	677	706

Point

**2** 売上高  
前中間連結会計期間に比べ4億5百万円の減少となりました。出版物事業及び不動産賃貸事業は堅調に推移いたしました。音響及び雑貨事業での輸入音響関連商品の売上高がインターネットの普及によるネット販売と、音楽配信の影響により減少いたしました。

Point

**3** 販売費及び一般管理費  
前中間連結会計期間に比べ6千5百万円の減少となりました。インターネット販売等の影響による厳しい経営環境の中で、物流経費の圧縮と人件費の見直し等の経費削減を推し進めた結果によるものであります。

● 中間連結株主資本等変動計算書(要旨)(平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)

(単位：百万円)

	株主資本				株主資本 合計	評価・換算差額等					少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		その他の 証券評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成19年3月31日残高	300	65	25	△4	387	△61	3	618	8	568	—	955
中間連結会計期間中の変動額												
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
中間純利益	—	—	12	—	12	—	—	—	—	—	—	12
自己株式の取得	—	—	—	△0	△0	—	—	—	—	—	—	△0
株主資本以外の項目の 中間連結会計期間中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	△64	△2	—	7	△60	—	△60
中間連結会計期間の変動額合計	—	—	12	△0	12	△64	△2	—	7	△60	—	△48
平成19年9月30日残高	300	65	38	△4	399	△125	0	618	15	508	—	907

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。



● 単体貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当中間期 (平成19年9月30日現在)	前期 (平成19年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	3,050	3,972
現金及び預金	622	481
受取手形	17	19
売掛金	1,387	2,357
その他の流動資産	1,051	1,183
貸倒引当金	△28	△69
固定資産	2,460	2,591
有形固定資産	1,572	1,585
無形固定資産	80	89
投資その他の資産	807	916
資産合計	5,511	6,563
<b>負債の部</b>		
流動負債	3,742	4,662
固定負債	817	890
負債合計	4,560	5,552
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	300	300
資本剰余金	65	65
利益剰余金	96	89
自己株式	△4	△4
株主資本合計	458	450
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△125	△61
繰延ヘッジ損益	0	3
土地再評価差額金	618	618
評価・換算差額等合計	492	560
純資産合計	951	1,011
負債純資産合計	5,511	6,563

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

● 損益計算書

(単位：百万円)

科目	当中間期 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)	前中間期 (自平成18年4月1日 至平成18年9月30日)
売上高	3,832	4,246
売上原価	3,169	3,547
売上総利益	662	699
販売費及び一般管理費	655	716
営業利益又は営業損失(△)	7	△17
営業外収益	5	12
営業外費用	30	19
経常損失(△)	△17	△25
特別利益	33	36
特別損失	0	5
税引前中間純利益	15	6
法人税、住民税及び事業税	0	0
法人税等調整額	7	5
中間純利益	7	0

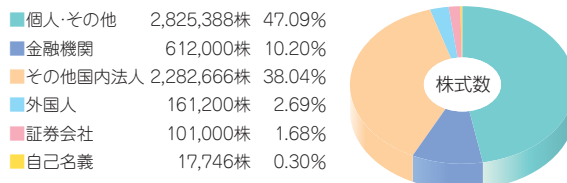
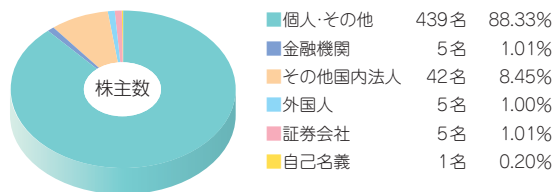
株式の状況

発行可能株式総数 24,000,000株  
 発行済株式の総数 6,000,000株  
 株主数 496名

大株主

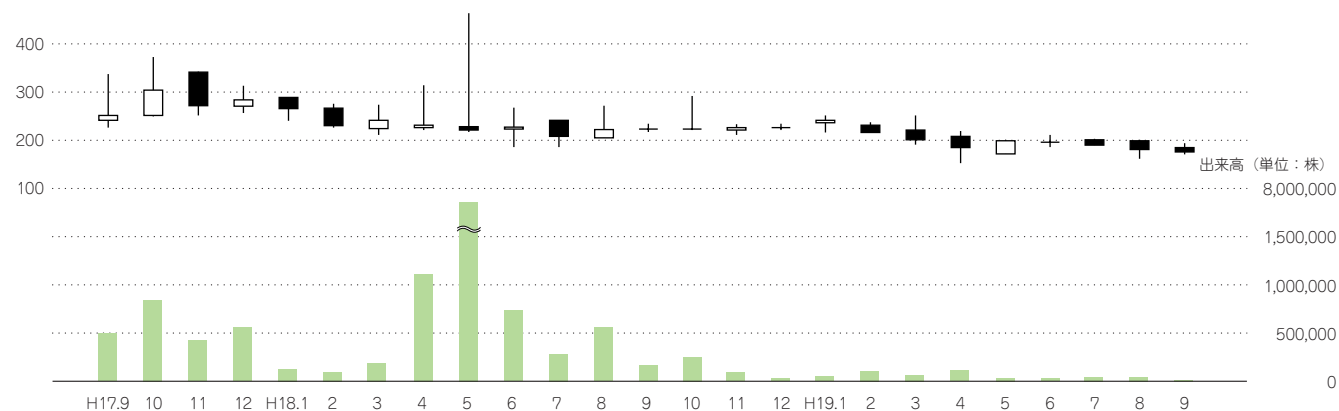
株主名	持株数	持株比率
中 林 三 十 三	1,044,000株	17.40%
丸 善 株 式 会 社	700,000	11.66
株 式 会 社 講 談 社	554,000	9.23
株 式 会 社 ト ー ハ ン	500,000	8.33
株 式 会 社 リ そ な 銀 行	296,000	4.93
株 式 会 社 三 井 住 友 銀 行	240,000	4.00
小 島 幸 雄	90,000	1.50
松 井 証 券 株 式 会 社	83,000	1.38
綾 森 素 子	80,000	1.33
ファーストインベスターズ株式会社	78,000	1.30

所有者区別株式分布状況



株価の推移

株価 (単位:円)



会社概要

商 号 日本出版貿易株式会社  
 代 表 者 代表取締役社長 関口 晴生  
 代表取締役会長 綾森 豊彦  
 創 立 昭和17年1月28日（1942年）  
 資 本 金 300,000,000円  
 従 業 員 数 124名  
 本 社 所 在 地 〒101-0064  
 東京都千代田区猿楽町一丁目2番1号  
 営 業 所 **大阪営業所**  
 〒532-0011  
 大阪市淀川区西中島三丁目5番2号 新居第10ビル  
**九州営業所**  
 〒812-0054  
 福岡市東区馬出五丁目40番11号 前田ビル  
 事 業 内 容 書籍、雑誌等一般出版物、学術文献、各種教材、  
 音楽関連ソフト及び雑貨品等の輸出入並びに国内販売。不動産の賃貸及び管理。



役員・監査役

代表取締役社長	関口 晴生	取 締 役	天内 健一
代表取締役会長	綾森 豊彦	取 締 役	庵之下 博文
取 締 役	大野 利夫	常 勤 監 査 役	中村 五郎
取 締 役	宮川 修	監 査 役	片岡 義正

子会社・関連会社

JP TRADING, INC.  
 CULTURE JAPON S.A.S.  
 JP-BOOKS (UK) LTD.  
 HAKUBUNDO, INC.  
 株式会社日貿出版社

ホームページのご紹介

当社では、会社案内をはじめ取り扱い商品、IR情報などをお伝えするホームページを開設しています。是非、ご覧ください。

<http://www.jpcco.jp/>



## 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月  
基準日 定時株主総会 3月31日  
そのほか必要があるときは、予め公告いたします。

株主名簿管理人 大阪市中央区北浜二丁目4番6号  
株式会社だいこう証券ビジネス  
〒103-0026  
同事務取扱場所 東京都中央区日本橋兜町14番9号  
株式会社だいこう証券ビジネス 東京支社  
〒541-8583  
(郵便物送付先) 大阪市中央区北浜二丁目4番6号  
(各種お問合せ) 株式会社だいこう証券ビジネス  
証券代行事務センター  
電話番号0120-255-100  
※株式関係のお手続用紙のご請求は次の電話番号  
及びインターネットで24時間承っております。  
手続用紙請求電話番号 0120-351-465  
ホームページアドレス  
<http://www.daiko-sb.co.jp>

同 取 次 所 同本社及び各支社  
公 告 掲 載 新 聞 東京都において発行される日本経済新聞  
公 告 方 法 当会社の公告方法は、電子公告といたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない時は東京都において発行される日本経済新聞に掲載いたします。

※貸借対照表及び損益計算書のホームページアドレス  
<http://www.jpitco.co.jp/>

## 株主の皆さまの 声をお聞かせ ください

株主さま向け  
アンケート

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、  
アンケートを実施いたします。  
お手数ではございますが、  
アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード  
入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答  
ください。所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 8072

いいかぶ

検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト  
内にある検索窓に、いいかぶと  
4文字入れて検索してください。



空メールによりURL自動返信

[kabu@wjm.jp](mailto:kabu@wjm.jp)へ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)  
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元  
に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から  
抽選で薄謝(図書カード500円)  
を差し上げていただきます



※本アンケートは、株式会社エーツーメディアの提供する「e-株主リサーチ」  
サービスにより実施いたします。(株式会社エーツーメディアについての詳細  
<http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用さ  
せていただき、事前の承諾なくこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30)  
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com

 日本出版貿易株式会社

〒101-0064 東京都千代田区猿楽町一丁目2番1号  
TEL:03-3292-3751 <http://www.jpitco.co.jp>

 r100  
全紙100%再生紙を使用した印刷です。

 PRINTED WITH  
SOY INK